

第 32 期第 1 回横浜市児童福祉審議会 総会 会議録

日時	平成 30 年 11 月 16 日 (金) 18 : 30 ~ 19 : 28
開催場所	ホテル横浜ガーデン カトレア
出席委員	明石委員 新井委員 岩佐委員 大場委員 影山委員 神長委員 加山委員 小林委員 澁谷委員 高橋委員 多田委員 田辺委員 天明委員 新堀委員 細川委員 森委員 山崎委員
欠席委員	石井委員 大庭委員 櫻井委員 青山委員 樋口委員
開催形態	公開(傍聴者 0 人・報道 0 人)
議題	1 こども青少年局長あいさつ 2 審議会の概要説明 3 議題 (1) 正副委員長の選出 (2) 部会所属委員の指名 4 部会の開催状況について (1) 里親部会 (2) 保育部会 (3) 児童部会 5 報告事項 (1) 平成29年度「横浜市子供を虐待から守る条例」に基づく実施状況報告書について
議事	2 審議会の概要説明 事務局から資料に基づき説明

### 3 議題

#### (1) 正副委員長の選出

要綱第2条に基づき、大場委員を委員長に選出

要綱第2条に基づき、山崎委員を副委員長に選出

#### (2) 部会所属委員の指名

要綱第4条に基づき、各部会所属委員を指名

### 4 部会の開催状況について

里親部会、保育部会、児童部会の審議内容について各部会から資料に基づき報告

○**影山委員** 里親の関係ですが、現在本市の里親登録されている里親さんの総数がどのぐらいなのかということと、先ほど8件、8人ほど審議で通ったというご報告がございましたが、順調に増加傾向にあるのかどうか、そのあたりを教えていただければと思います。

○**事務局** 平成29年度末現在の里親の登録者数でございますが、現在169世帯というところで登録させていただいております。増加傾向にあるかというご質問でございますが、平成26年度末時点で認定里親につきましては141世帯というところでございますので、年々というところになりますが、増加傾向にあるという状況でございます。

### 5 報告事項

(1) 平成29年度「横浜市子供を虐待から守る条例」に基づく実施状況報告書について  
事務局から資料に基づき報告

○**新堀委員** 31ページの資料の「にんしんSOSヨコハマ」についてですが、私どもの相談にも望まぬ妊娠で悩む方のご相談が入ってきておりまして、もしわかれば、例えば平成29年度にどのような利用があったかなどを教えていただければ幸いです。

○**事務局** 「にんしんSOSヨコハマ」事業ということでご相談をお受けしておりますが、内容としましては、妊娠したかもしれない、出産する病院はどう探すか、あるいは望まない妊娠や予期せぬ妊娠で産むか産まないか迷っている、中絶できる病院があるかということもご相談がございます。そういったご相談を受けた場合に、匿名のご相談もありますが、区での支援をご希望なさる方につきましては引き継いでご相談をお受けし、対応しております。

○**細川委員** 裏面の32ページの通告・相談の件数を教えていただいております。今、ご家庭に家電がなくなってきつつある中、保護者の方のスマートホン、携帯を持っている家庭がふえてきております。そうする中で、子どもたちが本当に電話にて相談したいと思うときにできる連絡先について、私たちも、どのように電話番号を伝えていいのかというところで模索しているのですが、今後、横浜市は子どもたちの相談というところで

はどのようにお考えになっていらっしゃるかを少し教えていただければうれしいと思ってお尋ねしたいと思います。

**○事務局** お子さん自らのご相談ということですが、実は今、児童相談所、区役所ともにお子さんご本人からの相談は少ない状況でございます。我々もそこは考えていかないといけないところだとは思っているのですが、よこはま子ども虐待ホットラインとか、区役所、児童相談所へのお電話自体も、それから区役所の子ども・家庭支援相談も窓口としてはお子さんご本人からの相談も受け入れているということで開いている状態になります。今、教育委員会を通じて、お子さん宛てに相談窓口の一覧が配られている状況です。虐待に限らずいろいろなじめとか、心配事、悩みの相談なども含めて、カード型のものとチラシが配られておりますので、そういったところでお子さんのご相談を受けとめられればいいかと思っております。

**○天明委員** 32ページのⅦ「虐待を行った保護者への支援」ということで、項目立てしてあって、頼もしく感じております。1番の「虐待を行った保護者に対する子供との良好な関係を再構築するための支援」として、どのようなことが行われているのか教えてください。

**○事務局** 今ご質問いただいた、虐待をしてしまいました保護者の方への支援についてですが、もちろん状況につきましては年齢とか、保護者の例えば精神的な疾患がある、あるいは経済的な問題とかさまざまなことがありますので、一概にこういった方法でということは申し上げにくいところがありますが、それぞれ虐待に至ってしまった背景等を丹念に児童相談所のほうでは面接や関係機関からの情報等を取りながら、保護者に対してカウンセリング的な面接を繰り返し行っています。子どもとの接し方が難しい、あるいは一時的であったにしろ、長期的であったにしろ、そういったさまざまな状況がありますが、例えば医療機関へつなぐといったサービスも行っておりますので、契約している医療機関にしばらく通っていただくとか、あるいは児童心理司がおりますので、児童福祉司とともに精神的なケアを行いながら、保護者と子どもが適切な関係がとれることを目指しながら、例えばプレイルームでお子さんの様子を見ながらお母さんとかお父さんの接し方について助言するとか、いろいろなバリエーションがあります。家庭それぞれにプログラムをつくりまして、ある程度のスパンでそれぞれ、再び家庭で暮らせるような支援を行っております。常駐している精神科医、児童福祉司、児童心理司、それが児童相談所の主なメンバーになりますが、それだけではなくてそれぞれかかわっている関係機関あるいは医療機関とも調整しながら、個別の支援プログラムをつくりながら行っているような状況になっております。

**○天明委員** ありがとうございます。ご覧になった方も多かったかと思うのですが、NHKの「プロフェッショナル」で福井大学の友田先生がすごく熱心に活動されているのを拝見いたしました。多分物すごく大変なお仕事だと思うので、チームを組んで皆さんで頑張りたいと思っています。

	<p><b>○澁谷委員</b> VIの「虐待を受けた子供に対する保護及び支援等」に関しまして、平成29年度の実施報告として、関係機関と連携し、虐待を受けた子どもに対する適切な保護、心身の健全を図るための支援を行いましたということで、行われたことはわかるのですが、特に里親、ファミリーホームへの委託については、委託が行われたというところかと思うのですが、それとあわせて支援のところも非常に注目されていると。先日もテレビ神奈川で、横浜市の里親さんが非常に有意義な活動をされているところは報道があったばかりで非常に心強い限りですが、それとあわせてこれからますます里親委託の件数がふえる傾向にあるかと思いますが、平成29年度を見る中で、特に平成30年度に向けて、委託をすると同時に支援に当たって何か課題とか、この辺を少し強化していきたいというビジョンみたいなものがあれば、この報告にあわせてお話を伺えればと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p><b>○事務局</b> 先ほど里親の件数が徐々に増えてきているというお話をさせていただきましたが、今ご指摘のように、里親が一旦預かったがなかなかうまくいかないということは、当然起こってくるわけです。それをどのように少しでも長く、安定的に安心して預かっていただけるかというのはとても大切な話になってくるわけです。その辺を少しでも支援していける体制をこれからつくっていかねばならない、それは行政ばかりではなくて、里親さんご自身との連携、そして児童相談所や、システムをつくる我々と一緒に取り組んでいかねばならない課題だと認識しております。それをしていかなければ里親はこれから増えていかないだろうと思っておりますので、そういう認識に立って進めていきたいと考えております。</p> <p><b>○森委員</b> 先ほど虐待ホットラインということで電話での相談というお話がありましたが、今のお子さんとか若いお母さんたちは、電話よりはLINEでQRコードを読み込んでという相談のほうがしやすいのかと思うのですが、その辺の取り組み状況について教えていただけますでしょうか。</p> <p><b>○事務局</b> LINEを使ったご相談は、いじめのご相談などに関しては今、県の教育委員会とか市の教育委員会のほうでも試行実施をしているところです。それから虐待のご相談についても、県が今、試行実施にこれから取り組むという状況になっています。横浜市も、その状況を見ながら検討していきたいと思っております。</p>
資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員名簿</li> <li>2 事務局職員名簿</li> <li>3 横浜市児童福祉審議会条例、横浜市児童福祉審議会運営要綱、児童福祉審議会の概要</li> <li>4～6 部会報告（里親、保育、児童）</li> <li>7 平成29年度「横浜市子供を虐待から守る条例」に基づく実施状況報告書について</li> </ol>

参 考 資 料	1 児童虐待による死亡疑義事例検証報告書（平成 29 年度発生分） 2 平成 30 年度 児童相談所一時保護所外部評価報告書
特 記 事 項	なし